

船舶事故調査報告書

平成26年7月17日

運輸安全委員会（海事専門部会）議決

委員 横山 鐵男（部会長）

委員 庄司 邦昭

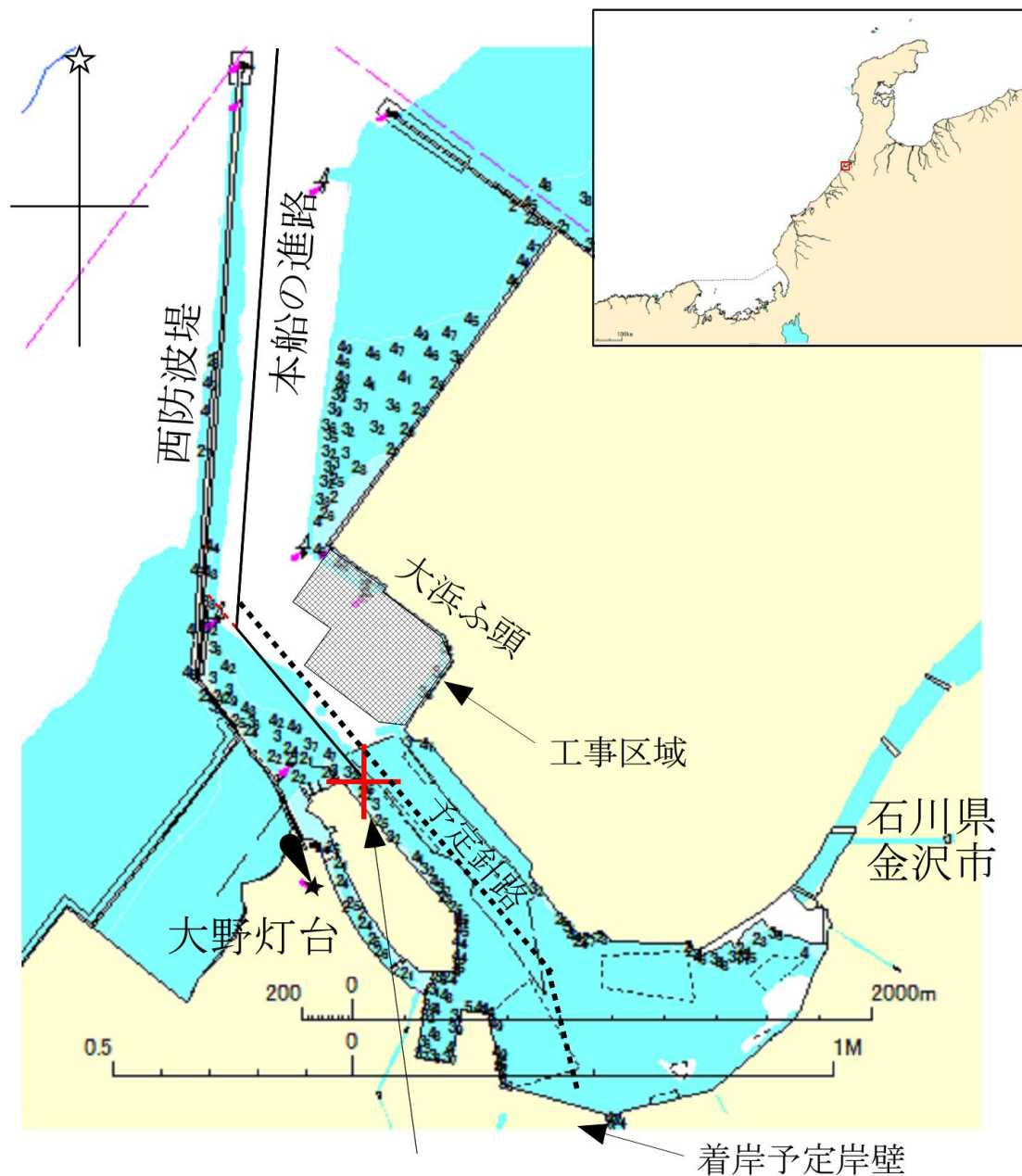
委員 根本 美奈

事故種類	乗揚
発生日時	平成25年10月8日 13時40分ごろ
発生場所	石川県金沢港 石川県金沢市所在の大野灯台から真方位024° 480m付近 （概位 北緯36° 37.2′ 東経136° 36.3′）
事故調査の経過	平成26年1月15日、本事故の調査を担当する主管調査官（神戸事務所）ほか1人の地方事故調査官を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等 L×B×D、船質 機関、出力、進水等	作業船兼調査船 ^{おやま} 雄山丸、435トン 134418、株式会社オフショア・オペレーション 54.96m×9.40m×5.98m、鋼 ディーゼル機関、1,324kW、平成14年1月15日
乗組員等に関する情報	船長 男性 70歳 二級海技士（航海） 免許年月日 昭和46年6月11日 免状交付年月日 平成22年3月18日 免状有効期間満了日 平成27年3月17日
死傷者等	なし
損傷	船尾船底部に擦過傷
事故の経過	本船は、船長ほか13人が乗り組み、調査員等13人を乗せ、船長が、船橋前部右舷側で操船に当たり、一等航海士を船橋前部左舷側で見張りに、機関長を機関コンソール後方で主機の操作に、操舵手を手動操舵にそれぞれ当たらせ、約184°の針路（真方位、以下同じ。）で機関を極微速力前進として約2～3ノットの対地速力とし、金沢港を西防波堤に沿って航行していた。 船長は、大浜ふ頭西方沖で針路を左に転じ、大浜ふ頭沖の屈曲部付近で行われている ^{しゅんせつ} 浚渫工事の作業区域（以下「工事区域」という。）を十分に離すことに注意を向け、約140°として予定針路線の右寄りに航行を続け、右舷方の護岸が近いと思っていたところ、平成25年10月8日13時40分ごろ、行きあしが急に止まり、浅所に乗り揚げたことを知った。 船長は、主機を停止した後、約10分間、機関を後進にかけて自力

	で離礁しようとしたものの、離礁できなかったので、先行していた僚船の１隻にえい航を依頼し、１４時２０分ごろ離礁した後、自力航行を行い、１４時４５分ごろ予定していた岸壁に着岸した。 （付図１ 推定航行経路図、付図２ 推定航行経路図（拡大） 参照）
気象・海象	気象：天気 曇り、風向 南東、風力 １、視界 良好 海象：海上 平穏、潮汐 上げ潮の中央期、潮高 約２６cm
その他の事項	本船は、僚船２隻と共に、平成２５年９月１６日から１０月１５日までの予定により、石川県能登半島沖で地殻構造探査の作業に従事していたが、台風の接近による天候の悪化が予想されたので、金沢港に避難しようとしており、喫水が船首約２．９m、船尾約４．９mであった。 船長は、これまで海外で大型漁船の航海士として幾度も乗り組んだ経験があったが、船長職をとったのは、今回の航海が初めてであり、金沢港を航行することも初めてであるとともに、着岸操船を行った経験がほとんどなく、やや緊張していた。 船長は、船舶所有会社及び現地代理店から、金沢港内における泊地浚渫工事の実施についてのＦＡＸによる情報を入手していたが、金沢港を航行する際、事前に海図で工事区域を確認したり、工事区域付近の水深の状況を確認したりしていなかったため、大浜ふ頭南西方から南東に延びる掘下げ済み区域（水深９．７m）に接する南西側に水深約４m以下の浅所があることを認識していなかった。 本船が乗り揚げた場所は、水深約３．６m、底質が砂泥の浅所である。
分析 乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	あり なし なし 本船は、金沢港を南東進中、船長が工事区域との距離をとることに注意を向け、予定針路線の右寄りを航行したことから、浅所に乗り揚げたものと考えられる。 船長は、金沢港を航行する際、事前に海図で工事区域を確認したり、付近の水深の状況を確認したりしていなかったため、掘下げ済み区域に接する南西側に水深約４m以下の浅所があることを認識していなかった可能性があると考えられる。
原因	本事故は、本船が、金沢港を南東進中、船長が工事区域との距離をとることに注意を向け、予定針路線の右寄りを航行したため、浅所に乗り揚げたことにより発生したものと考えられる。
参考	今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。

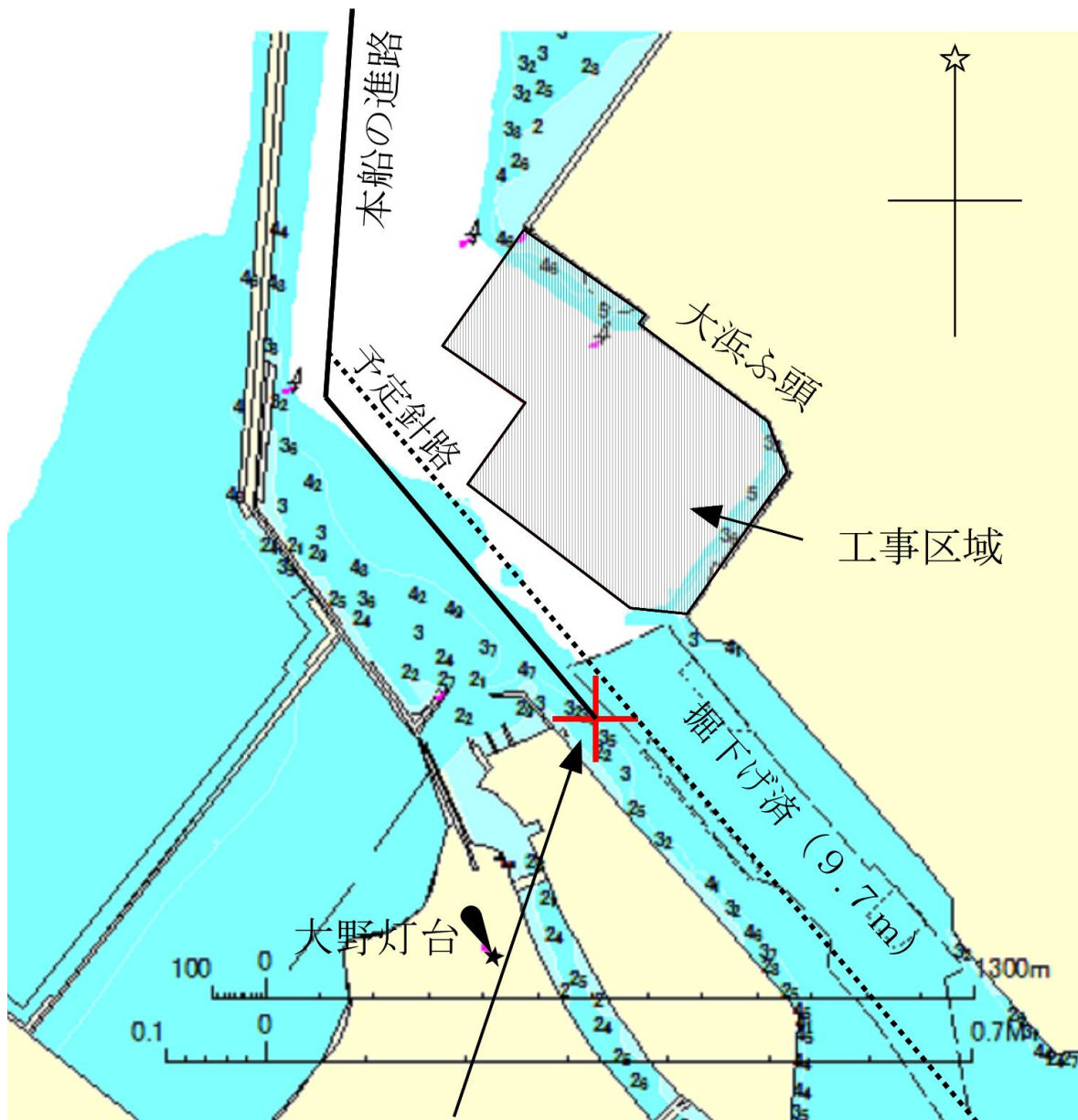
	・ 港を初めて航行する際は、事前に海図で港の状況を十分に確認すること。 ・ 港内で浚渫工事等が行われているとの情報を得た場合には、予定針路を十分に検討するとともに、付近の水深の状況を把握しておくこと。
--	---

付図１ 推定航行経路図



事故発生場所
(平成25年10月8日13時40分ごろ発生)

付図2 推定航行経路図（拡大）



事故発生場所